

CHAPTER 1 Words that Can Guide You in Life (pp. 8-21) CAN-DO リスト

1. 内容理解 (Content Construction)

- ・進藤奈邦子氏がなぜ医師を目指したのかを理解することができる。【Part 1】
- ・WHO 医務官がなぜ危険な現場で目に見えない病原菌と闘い続けるのかを読み取ることができる。【Part 2, 3】
- ・壁にぶつかったときの進藤氏のアドバイスを理解することができる。【Part 3】
- ・mentor の意味と重要性を理解することができる。【Part 4】
- ・進藤氏のアドバイスを読み、自分の職業や進路について考えることができる。【Part 4】
- ・本文の内容を理解し、RECAP SHEET を完成させることができる。【R&R 2】

2. 言語リソース (Language Resources)

2.1 文法 (Grammar)

- ・未来を展望して語る構文ネットワーク 【GC 1】
 - 1.1 未来を表す表現の意味の違いを理解し、例文の意味を理解することができる。
 - 1.2 未来を表す表現を理解したうえで、イラストが表す状況を適切に表現することができる。
- ・使役の構文 【GC 2】
 - 2.1 使役の構文の働きと意味を理解し、例文の意味を理解することができる。
 - 2.2 使役の構文を理解したうえで、構文を使って会話を完成することができる。

2.2 語彙 (Vocabulary)

- ・次の語彙をコミュニケーションにおいて使うことができる (発信語彙)。
 - 名詞: teen, surgery, security, highway, virus, sort, loss, confidence, wisdom
 - 動詞: determine, honor, specialize, bury, treat, fulfill, contract, cope, hesitate, convince, owe, recommend
 - 形容詞: internal, proud, thankful
 - 副詞: nowhere, surely
 - 接続詞: wherever
- ・上記の語彙に加え、次の語彙の意味を理解することができる (受容語彙)。
 - 名詞: bedside, surgeon, Angola, outbreak, landmine, dung, thirst, calorie, microorganism, pandemic, mentor
 - 動詞: grieve, coexist
 - 形容詞: infectious, lax, sanitary, hazardous, depressed
- ・病気・医学に関連する語彙をネットワークとして整理し、意味を理解することができる。【VN】

2.3 慣用表現 (Formulas)

- ・次の慣用表現の意味を理解し、使うことができる。
grow up, give a thought to ..., start off, think ... over, specialize in ..., come up, here and there, as well, in the middle of nowhere, get out of ..., take in ..., all sorts of ..., in danger of ..., there is no need to do, be proud to do, as part of ..., cope with ..., be at a loss, look around, be of help, hesitate to do, convince O to do, be thankful for ..., feel down, along the way, words of wisdom

3. 5領域におけるタスク・ハンドリング (Task-Handling in Five Domains)

3.1 聞くこと (Listening Domain)

- ・本文に関する英文を聞き、正誤を判断することができる。【R&R 1】

3.2 読むこと (Reading Domain)

- ・進藤奈邦子氏の将来に関するメッセージを読み取ることができる。【CC】
- ・場面ごとの状況や説明内容を読み取ることができる。
- ・理解が難しい箇所を、文脈や背景知識を活用し、推測しながら読むことができる。

3.3 話すこと (発表) (Spoken Production Domain)

- ・本文の内容を理解し、RECAP SHEET を完成させ、発表することができる。【R&R 2】
- ・RECAP SHEET を用いながら、自分の言葉で本文内の良かったところを共有できる。【R&R 3】
- ・進藤氏への質問をグループで話し合って決め、クラスで発表できる。【MIY 3】

3.4 話すこと (やり取り) (Spoken Interaction Domain)

- ・Think-Pair-Share の問いに対して、自分の言葉で意見を述べながら、短い会話を行うことができる。【TPS】

3.5 書くこと (Writing Domain)

- ・進藤氏への質問をできるだけ多く書くことができる。【MIY 2】

・ 病気・医学に関する語句を理解しながら，穴埋めを行うことができる。【VN】
3.6 領域統合 (Integrated Domains) ・ クラスで発表した進藤氏への質問の中から，最も良いと思う 5 つの質問を選び，理由をつけて投票することができる。【MIY 4】
4. 学習への向き合い方と学習管理 (Attitude & Learning Management) ・ 教師の発問に対して積極的に反応している。 ・ 授業中に大きな声で気持ちを込めて音読をしている。 ・ 本課で学習した文法や語彙・慣用表現を，コミュニケーションにおいて積極的に活用しようとしている。 ・ 「病気・医学」に関する語彙や慣用表現を自分で調べ，語彙力の拡充を図っている。 ・ 本課の新出語彙・表現を繰り返し読んだり書いたりして，定着を図っている。 ・ 本課の全文を 10 回以上音読している。【通読用本文】 ・ ペアワークやグループワークに積極的に参加し，責任をもって自分の役割を果たしている。 ・ 授業の振り返り（リフレクション）を行い，学習の成果と課題を明確にしている。 ・ PDCA（Plan-Do-Check-Action）サイクルを通して計画的に学習を進めている。 ・ 疑問点を放置せず，先生に質問をしたり，学習書を活用したりして解決している。
略語: GC = Grammar for Communication; VN = Vocabulary Networking, MIY = Make It Yours; R&R = Recap & Retell; CC = Comprehension Check; TPS = Think-Pair-Share

CHAPTER 2 Stationery – Changing Our Lives for the Better (pp. 22-35) CAN-DO リスト

1. 内容理解 (Content Construction)

- ・針のないホチキスを例に、文房具の開発過程や生活への影響について考えることができる。【Part 1】
- ・テープのりの発明や改良の経緯を読み取ることができる。【Part 2】
- ・消せるインクのペンの開発の経緯や、日本とヨーロッパの学生の筆記具の違いを理解することができる。【Part 3】
- ・日本の文房具が海外でも人気であることとその理由を読み取ることができる。【Part 4】
- ・新しい生活様式や考え方が文房具に与える影響を理解し、これからの文房具について考えることができる。【Part 4】
- ・本文の内容を理解し、RECAP SHEET を完成させることができる。【R&R 2】

2. 言語リソース (Language Resources)

2.1 文法 (Grammar)

- ・現在を語る構文ネットワーク 【GC 1】
 - 1.1 現在を表す表現の意味の違いを理解し、例文の意味を理解することができる。
 - 1.2 現在を表す表現を理解したうえで、イラストが表す状況を適切に表現することができる。
- ・完了形の受動態 【GC 2】
 - 2.1 完了形の受動態の働きと意味を理解し、例文の意味を理解することができる。
 - 2.2 完了形の受動態を理解したうえで、完了形の受動態を使って会話を完成することができる。

2.2 語彙 (Vocabulary)

- ・次の語彙をコミュニケーションにおいて使うことができる (発信語彙)。
 - 名詞: correction, document, attendance, dot, requirement, trace, passion
 - 動詞: bind, distribute, dry, stick, inspire, undergo
 - 形容詞: mechanical, permanent, annual, economical, stylish, reasonable, current
 - 副詞: smoothly, typically
- ・上記の語彙に加え、次の語彙の意味を理解することができる (受容語彙)。
 - 名詞: ballpoint, highlighter, staple, delegate, adhesiveness, cartridge, coloring, marketing, homestay, popularity, digitalization, craftsmanship
 - 動詞: reload, dispense, optimize, market, utilize, paperless
 - 形容詞: sticky, whiteout, masking, -friendly, so-called, replaceable, erasable, frictional, renowned
- ・文房具に関連する語彙をネットワークとして整理し、意味を理解することができる。【VN】

2.3 慣用表現 (Formulas)

- ・次の慣用表現の意味を理解し、使うことができる。
 - turn out, stick to ..., come out of ..., depending on ..., trial and error, on sale, switch from *A* to *B*, be renowned for ..., take up ..., in spite of ..., in a sense

3. 5領域におけるタスク・ハンドリング (Task-Handling in Five Domains)

3.1 聞くこと (Listening Domain)

- ・本文に関する英文を聞き、正誤を判断することができる。【R&R 1】

3.2 読むこと (Reading Domain)

- ・文房具が私たちの生活に与える影響について考えることができる。【CC】
- ・場面ごとの状況や説明内容を読み取ることができる。
- ・理解が難しい箇所を、文脈や背景知識を活用して推測しながら読むことができる。

3.3 話すこと (発表) (Spoken Production Domain)

- ・本文の内容を理解し、RECAP SHEET を完成させ、発表することができる。【R&R 2】
- ・RECAP SHEET を用いながら、自分の言葉で本文内の良かったところを共有できる。【R&R 3】
- ・決められた発表フォーマットに沿って、製品に関する短い発表をすることができる。【MIY 3】

3.4 話すこと (やり取り) (Spoken Interaction Domain)

- ・Think-Pair-Share の問いに対して、自分の言葉で意見を述べながら、短い会話を行うことができる。【TPS】

3.5 書くこと (Writing Domain)

- ・3つの役に立つ文房具製品をインターネットから探し、表を完成させることができる。【MIY 1】
- ・文房具に関する語句を理解しながら、穴埋めを行うことができる。【VN】

3.6 領域統合 (Integrated Domains)

- ・調べた 3 つの文房具の中からおすすめをひとつ選び，製品に関する短い発表をすることができる。【MIY 1-3】

4. 学習への向き合い方と学習管理 (Attitude & Learning Management)

- ・教師の発問に対して積極的に反応している。
- ・授業中に大きな声で気持ちを込めて音読をしている。
- ・本課で学習した文法や語彙・慣用表現を，コミュニケーションにおいて積極的に活用しようとしている。
- ・「文房具」に関する語彙や慣用表現を自分で調べ，語彙力の拡充を図っている。
- ・本課の新出語彙・表現を繰り返し読んだり書いたりして，定着を図っている。
- ・本課の全文を 10 回以上音読している。【通読用本文】
- ・ペアワークやグループワークに積極的に参加し，責任をもって自分の役割を果たしている。
- ・授業の振り返り（リフレクション）を行い，学習の成果と課題を明確にしている。
- ・PDCA (Plan-Do-Check-Action) サイクルを通して計画的に学習を進めている。
- ・疑問点を放置せず，先生に質問をしたり，学習書を活用したりして解決している。

略語: GC = Grammar for Communication; VN = Vocabulary Networking, MIY = Make It Yours; R&R = Recap & Retell;

CC = Comprehension Check; TPS = Think-Pair-Share

CHAPTER 3 Salt: More than Just a Seasoning (pp. 40-55) CAN-DO リスト

1. 内容理解 (Content Construction)

- ・塩のさまざまな用途や、ナトリウムが生物の体に必要な理由を読み取ることができる。【Part 1】
- ・生物の進化の過程において陸上動物の体がナトリウムを必要とするようになった理由を読み取ることができる。【Part 2】
- ・新たな環境に適応するために舌と腎臓が発達していったことを理解することができる。【Part 2】
- ・農業の発達により人間に起こったナトリウム摂取不足とその影響を読み取ることができる。【Part 3】
- ・人類が調味料として塩を重要視する一方、深刻な健康問題を引き起こすことを理解することができる。【Part 4】
- ・塩の益・害を理解し、ナトリウム摂取量の削減について考えることができる。【Part 4】
- ・本文の内容を理解し、RECAP SHEET を完成させることができる。【R&R 2】

2. 言語リソース (Language Resources)

2.1 文法 (Grammar)

- ・判断を表す形容詞構文のネットワーク【GC 1】
 - 1.1 判断を表す形容詞構文の意味の違いを理解し、例文の意味を理解することができる。
 - 1.2 判断を表す表現を理解したうえで、構文を使って会話を完成することができる。
- ・形式目的語構文【GC 2】
 - 2.1 形式目的語構文の働きと意味を理解し、例文の意味を理解することができる。
 - 2.2 形式目的語構文を理解したうえで、構文を使って文を完成することができる。

2.2 語彙 (Vocabulary)

- ・次の語彙をコミュニケーションにおいて使うことができる (発信語彙)。
 - 名詞: flavor, production, companion, nutrient, oxygen, muscle, process, organ, mineral, tongue, liter, agriculture, crop, wheat, reduction
 - 動詞: present, suppose, steam, preserve, restore, consume, adjust, detect, transform
 - 形容詞: essential, distant, excess, stable, harmful
 - 副詞: moreover, commonly, constantly, somehow
- ・上記の語彙に加え、次の語彙の意味を理解することができる (受容語彙)。
 - 名詞: seasoning, pinch, sprinkle, disinfection, component, sodium, nerve, impulse, urine, organism, composition, ratio, surrounding, bud, kidney, urination, intake, potassium, deficiency, stroke
 - 動詞: ferment, de-ice, transmit, expel, evolve, form, filter, harvest, crave
 - 形容詞: spectacular, inseparable, evolutionary, elemental
 - 副詞: drastically
- ・栄養・味付けに関連する語彙をネットワークとして整理し、意味を理解することができる。【VN】

2.3 慣用表現 (Formulas)

- ・次の慣用表現の意味を理解し、使うことができる。
 - a pinch of ..., can't *do* without ..., set off on ..., keep ... alive, keep ... going, season *A* with *B*, billions of ..., evolve into ..., as you may know, move out of ..., transform *A* into *B*, put *A* back into *B*, make it possible to *do*, live a ... life, result in ..., at some point, take place, get used to *doing*, no longer, no doubt, drive *O* to *do*, be indispensable for ..., to excess

3. 5領域におけるタスク・ハンドリング (Task-Handling in Five Domains)

3.1 聞くこと (Listening Domain)

- ・本文に関する英文を聞き、正誤を判断することができる。【R&R 1】

3.2 読むこと (Reading Domain)

- ・人類にとって塩が不可欠になった理由を理解し、その過度な使用が引き起こす問題について意識することができる。【CC】
- ・場面ごとの状況や説明内容を読み取ることができる。
- ・理解が難しい箇所を、文脈や背景知識を活用し、推測しながら読むことができる。

3.3 話すこと (発表) (Spoken Production Domain)

- ・本文の内容を理解し、RECAP SHEET を完成させ、発表することができる。【R&R 2】
- ・RECAP SHEET を用いながら、自分の言葉で本文内の良かったところを共有できる。【R&R 3】
- ・塩に関する驚くべき事実について準備した発表をクラスで行うことができる。【MIY 3,4】

3.4 話すこと（やり取り）(Spoken Interaction Domain) ・ Think-Pair-Share の問いに対して、自分の言葉で意見を述べながら、短い会話を行うことができる。【TPS】
3.5 書くこと (Writing Domain) ・ 塩に関する驚くべき事実について表に書くことができる。【MIY 1】 ・ 与えられたフォーマットを用いて、塩に関する 3 つの事実の原稿を書くことができる。【MIY 2】 ・ 栄養・味付けに関する語句を理解しながら、穴埋めを行うことができる。【VN】
3.6 領域統合 (Integrated Domains) ・ クラスメイトの発表を聞いたあと、その中から興味深いと思ったものを 3 つ書き出すことができる。【MIY 4】
4. 学習への向き合い方と学習管理 (Attitude & Learning Management) ・ 教師の発問に対して積極的に反応している。 ・ 授業中に大きな声で気持ちを込めて音読をしている。 ・ 本課で学習した文法や語彙・慣用表現を、コミュニケーションにおいて積極的に活用しようとしている。 ・ 「栄養・味付け」に関する語彙や慣用表現を自分で調べ、語彙力の拡充を図っている。 ・ 本課の新出語彙・表現を繰り返し読んだり書いたりして、定着を図っている。 ・ 本課の全文を 10 回以上音読している。【通読用本文】 ・ ペアワークやグループワークに積極的に参加し、責任をもって自分の役割を果たしている。 ・ 授業の振り返り（リフレクション）を行い、学習の成果と課題を明確にしている。 ・ PDCA (Plan-Do-Check-Action) サイクルを通して計画的に学習を進めている。 ・ 疑問点を放置せず、先生に質問をしたり、学習書を活用したりして解決している。

略語: GC = Grammar for Communication; VN = Vocabulary Networking, MIY = Make It Yours; R&R = Recap & Retell;
CC = Comprehension Check; TPS = Think-Pair-Share

CHAPTER 4 The Story of Holly Butcher (pp. 56-71) CAN-DO リスト

1. 内容理解 (Content Construction)

- ・ホリーさんの生い立ちや直面した事実を理解することができる。【冒頭】
- ・死が迫ったホリーさんの心情やこのメッセージを書くにあたっての思いを読み取ることができる。【Part 1, 4】
- ・些細な問題を気にするのではなく、健康に感謝し精神的な幸せを見つけるべきだというメッセージを読み取ることができる。【Part 1, 2】
- ・人生において、お金を持っていることやスマートフォンで写真を撮ること以上に何が大切かを読み取ることができる。【Part 3, 4】
- ・ホリーさんのメッセージから、献血の重要性について考えることができる。【Part 4】
- ・本文の内容を理解し、RECAP SHEET を完成させることができる。【R&R 2】

2. 言語リソース (Language Resources)

2.1 文法 (Grammar)

- ・頻度を表す構文ネットワーク【GC 1】
 - 1.1 頻度を表す表現の意味の違いを理解し、例文の意味を理解することができる。
 - 1.2 頻度を表す表現を理解したうえで、表を完成させることができる。
- ・複合関係詞【GC 2】
 - 2.1 複合関係詞の働きと意味を理解し、例文の意味を理解することができる。
 - 2.2 複合関係詞を理解したうえで、構文を使って文章を完成することができる。

2.2 語彙 (Vocabulary)

- ・次の語彙をコミュニケーションにおいて使うことができる (発信語彙)。
 - 名詞: pain, cancer, fate, stress, flu, smartphone
 - 動詞: suspect, cure, tick, approach, capture
 - 形容詞: tragic, constant, precious, grateful, minor, ordinary, amazing, emotional, spiritual, sore, miserable
 - 前置詞: concerning
- ・上記の語彙に加え、次の語彙の意味を理解することができる (受容語彙)。
 - 名詞: Holly Butcher, inevitability, donation
 - 動詞: lament, dip, donate, prolong
 - 形容詞: mortal, wrinkled, grey(gray), fragile, unpredictable, taboo, meaningless, insignificant, time-consuming, commonplace, annoying, life-threatening, weird
 - 副詞: thankfully, incredibly
- ・人生・死に関連する語彙をネットワークとして整理し、意味を理解することができる。【VN】

2.3 慣用表現 (Formulas)

- ・次の慣用表現の意味を理解し、使うことができる。
 - ahead of ..., have *O* done, be likely to *do*, out of one's hands, for the most part, get, caught in ..., far from ..., as a whole, take pride in ..., take good care of ..., in addition, fall sick, be grateful to ..., instead of ..., take ... out, above all, put off ..., rather than ..., be meant to be *done*, nothing but ...

3. 5領域におけるタスク・ハンドリング (Task-Handling in Five Domains)

3.1 聞くこと (Listening Domain)

- ・本文に関する英文を聞き、正誤を判断することができる。【R&R 1】

3.2 読むこと (Reading Domain)

- ・人生と死に関するホリーさんの助言を読み取ることができる。【CC】
- ・場面ごとの状況や説明内容を読み取ることができる。
- ・理解が難しい箇所を、文脈や背景知識を活用し、推測しながら読むことができる。

3.3 話すこと (発表) (Spoken Production Domain)

- ・本文の内容を理解し、RECAP SHEET を完成させ、発表することができる。【R&R 2】
- ・RECAP SHEET を用いながら、自分の言葉で本文内の良かったところを共有できる。【R&R 3】
- ・ホリーさんへの手紙にどんな情報を含める必要があるかグループで話し合うことができる。【MIY 2】

3.4 話すこと (やり取り) (Spoken Interaction Domain)

- ・Think-Pair-Share の問いに対して、自分の言葉で意見を述べながら、短い会話を行うことができる。【TPS】

3.5 書くこと (Writing Domain)

・本文をもう一度読み、メッセージの中で最も印象深いものをひとつ選び、選んだ理由とそれが自分の人生にどう関係しているのか書くことができる。【MIY-1】 ・STEP 3 の手紙を見本にして、ホリーさんへの手紙を書くことができる。【MIY 4】 ・人生・死に関する語句を理解しながら、穴埋めを行うことができる。【VN】
3.6 領域統合 (Integrated Domains) ・書いた手紙をクラスメイトと共有し、話し合うことができる。【MIY 5】
4. 学習への向き合い方と学習管理 (Attitude & Learning Management) ・教師の発問に対して積極的に反応している。 ・授業中に大きな声で気持ちを込めて音読をしている。 ・本課で学習した文法や語彙・慣用表現を、コミュニケーションにおいて積極的に活用しようとしている。 ・「人生・死」に関する語彙や慣用表現を自分で調べ、語彙力の拡充を図っている。 ・本課の新出語彙・表現を繰り返し読んだり書いたりして、定着を図っている。 ・本課の全文を 10 回以上音読している。【通読用本文】 ・ペアワークやグループワークに積極的に参加し、責任をもって自分の役割を果たしている。 ・授業の振り返り（リフレクション）を行い、学習の成果と課題を明確にしている。 ・PDCA (Plan-Do-Check-Action) サイクルを通して計画的に学習を進めている。 ・疑問点を放置せず、先生に質問をしたり、学習書を活用したりして解決している。

略語: GC = Grammar for Communication; VN = Vocabulary Networking, MIY = Make It Yours; R&R = Recap & Retell;
 CC = Comprehension Check; TPS = Think-Pair-Share

CHAPTER 5 Welcome to Costa Rica: An Invitation to Ecotourism (pp. 72-87) CAN-DO リスト

1. 内容理解 (Content Construction)

- ・ コスタリカの国土や産業などを知り、多様な生物がすむ環境を守る重要性について読み取ることができる。**【Part 1】**
- ・ エコツーリズムの語の意味、役割や目的を読み取ることができる。**【Part 2】**
- ・ モンテベルデ国立保護区のツアーについてイメージすることができる。**【Part 3】**
- ・ エコツーリズムがもたらす恩恵の一方で、「オーバーツーリズム」と呼ばれる問題があることを理解することができる。**【Part 4】**
- ・ エコツーリズムを通して、世界をより持続可能な場所にするためにできることを考えることができる。**【Part 4】**
- ・ 本文の内容を理解し、RECAP SHEET を完成させることができる。**【R&R 2】**

2. 言語リソース (Language Resources)

2.1 文法 (Grammar)

- ・ 否定構文のネットワーク **【GC 1】**
 - 1.1 否定を表す表現の意味の違いを理解し、例文の意味を理解することができる。
 - 1.2 否定を表す表現を理解したうえで、構文を使って会話を完成することができる。
- ・ 冠詞の用法 **【GC 2】**
 - 2.1 冠詞の働きと意味を理解し、例文の意味を理解することができる。
 - 2.2 冠詞の用法を理解したうえで、冠詞を意識して会話を完成することができる。

2.2 語彙 (Vocabulary)

- ・ 次の語彙をコミュニケーションにおいて使うことができる (発信語彙)。
名詞: invitation, lecture, tourism, presentation, reserve, electricity, energy, industry, climate, ecology, community, bark, trail, admission, economy, income, wildlife, resource, concept
動詞: sustain, reflect, combine, endanger, alarm, affect
形容詞: total, responsible, extreme, positive, mass, tropical, rapid
副詞: roughly
- ・ 上記の語彙に加え、次の語彙の意味を理解することができる (受容語彙)。
名詞: Costa Rica, ecotourism, Antonio Morales, species, well-being, keyword, conservation, asset, sustainability, birthplace, lodge, aroma, biodiversity, coexistence, footprint
動詞: conserve, maximize, minimize, recharge, spot, pose
形容詞: renewable, neighboring, biodiverse, hearty, bilingual, horseback, sustainable
- ・ 観光・環境に関連する語彙をネットワークとして整理し、意味を理解することができる。**【VN】**

2.3 慣用表現 (Formulas)

- ・ 次の慣用表現の意味を理解し、使うことができる。
equal to ..., be home to ..., according to ..., put another way, to sum up, carry out ..., now that ..., recharge one's batteries, get the most out of ..., a wealth of ..., on one's own, reflect on ..., account for ..., bring in ..., cause *O* to *do*, go against

3. 5領域におけるタスク・ハンドリング (Task-Handling in Five Domains)

3.1 聞くこと (Listening Domain)

- ・ 本文に関する英文を聞き、正誤を判断することができる。**【R&R 1】**

3.2 読むこと (Reading Domain)

- ・ エコツーリズムを通して、持続可能な世界の実現のために共に活動しようという筆者のメッセージを理解できる。**【CC】**
- ・ 場面ごとの状況や説明内容を読み取ることができる。
- ・ 理解が難しい箇所を、文脈や背景知識を活用し、推測しながら読むことができる。

3.3 話すこと (発表) (Spoken Production Domain)

- ・ 本文の内容を理解し、RECAP SHEET を完成させ、発表することができる。**【R&R 2】**
- ・ RECAP SHEET を用いながら、自分の言葉で本文内の良かったところを共有できる。**【R&R 3】**

3.4 話すこと (やりとり) (Spoken Interaction Domain)

- ・ Think-Pair-Share の問いに対して、自分の言葉で意見を述べながら、短い会話を行うことができる。**【TPS】**
- ・ 日本はエコツーリズムを推進すべきどうかについて、それぞれのメンバーの意見をグループで話し合うこと

ができる。【MIY 2】
3.5 書くこと (Writing Domain) ・エコツーリズムに対して賛成か反対かについての意見を完全な文で書くことができる。【MIY 1】 ・グループのメンバーの意見を聞いてメモを取り、「意見のデータベース」を作ることができる。【MIY 2】 ・観光・環境に関する語句を理解しながら、穴埋めを行うことができる。【VN】
3.6 領域統合 (Integrated Domains) ・メンバーの意見を 5 段階で評価しその理由を書くことができる。【MIY 3】 ・グループ内で自分の立場と理由を述べ、グループの総意に達することができる。さらに、グループの立場とその理由についてクラスで発表することができる。【MIY 5】
4. 学習への向き合い方と学習管理 (Attitude & Learning Management) ・教師の発問に対して積極的に反応している。 ・授業中に大きな声で気持ちを込めて音読をしている。 ・本課で学習した文法や語彙・慣用表現を、コミュニケーションにおいて積極的に活用しようとしている。 ・「観光・環境」に関する語彙や慣用表現を自分で調べ、語彙力の拡充を図っている。 ・本課の新出語彙・表現を繰り返し読んだり書いたりして、定着を図っている。 ・本課の全文を 10 回以上音読している。【通読用本文】 ・ペアワークやグループワークに積極的に参加し、責任をもって自分の役割を果たしている。 ・授業の振り返り（リフレクション）を行い、学習の成果と課題を明確にしている。 ・PDCA (Plan-Do-Check-Action) サイクルを通して計画的に学習を進めている。 ・疑問点を放置せず、先生に質問をしたり、学習書を活用したりして解決している。

略語: GC = Grammar for Communication; VN = Vocabulary Networking, MIY = Make It Yours; R&R = Recap & Retell;

CC = Comprehension Check; TPS = Think-Pair-Share

AUDIO-FOCUSED READING The Empty Pot (pp. 92-99) CAN-DO リスト

1. 内容理解 (Content Construction)

- ・主人公のジュンと登場人物の関係を把握できる。
- ・皇帝のおかれた状況と、次の皇帝を選ぶ計画の内容や条件を理解できる。
- ・種を受け取ったジュンが種を育てるために行った世話や工夫をイメージすることができる。
- ・種に何の変化も起こらないことに対するジュンの心情を考えることができる。
- ・審査の日にジュンの両親がかけた言葉の背景を読み取ることができる。
- ・皇帝を目の前にしたジュンが空の鉢について説明する情景と彼の心情を考えることができる。
- ・種が育たなかった本当の理由を把握することができる。
- ・皇帝が後継者にジュンを選んだ理由を理解することができる。

2. 言語リソース (Language Resources)

2.1 語彙 (Vocabulary)

- ・次の語彙の意味を理解することができる。
名詞: Jun, emperor, ruler, successor, palace, flowerpot, layer, rest, soil, sprout, Chen, Han, Wong, despair, silk, robe, aisle, majesty, honesty, applause
動詞: burst, select, announce, dig, frown, bow, declare
形容詞: diligent, royal, huge, graceful, honest, solemn, glorious, flowering
副詞: calmly, gently, hereby

2.3 慣用表現 (Formulas)

- ・次の慣用表現の意味を理解し、使うことができる。
at a very early age, burst into full bloom, come up with ..., make sure that ..., day after day, much to one's disappointment, tend the seed, with loving care, in despair, as it is, make fun of ..., could hardly *do*, pay off

3. 5領域におけるタスク・ハンドリング (Task-Handling in Five Domains)

3.1 聞くこと (Listening Domain)

- ・本文に関する英文を聞き、その内容を理解できる。

3.2 読むこと (Reading Domain)

- ・正直であることの大切さを理解することができる。
- ・場面ごとの登場人物の気持ちを読み取り、内容理解の質問に答えることができる。【AYR 1】
- ・理解が難しい箇所を、文脈や背景知識を活用して推測しながら読むことができる。

3.3 話すこと (発表) (Spoken Production Domain)

- ・自分たちで描いたポスターを使って、話の内容を伝えることができる。【AYR 2-3】

3.4 話すこと (やり取り) (Spoken Interaction Domain)

- ・質問の答えについて、クラスメイトと意見を交換し、グループの意見をまとめることができる。【AYR 3】

3.5 書くこと (Writing Domain)

- ・4つのシーンに分けた本文の内容を絵または言葉で表すことができる。【AYR 2-1】

3.6 領域統合 (Integrated Domains)

- ・物語を読み、情景をイメージしながら読み進めることができる。

4. 学習への向き合い方と学習管理 (Attitude & Learning Management)

- ・教師の発問に対して積極的に反応している。
- ・授業中に大きな声で気持ちを込めて音読をしている。
- ・本課で学習した文法や語彙・慣用表現を、コミュニケーションにおいて積極的に活用しようとしている。
- ・物語における登場人物の視点に立てる・感情を汲み取ることができる。
- ・本課の新出語彙・表現を繰り返し読んだり書いたりして、定着を図っている。
- ・ペアワークやグループワークに積極的に参加し、責任をもって自分の役割を果たしている。
- ・授業の振り返り (リフレクション) を行い、学習の成果と課題を明確にしている。
- ・PDCA (Plan-Do-Check-Action) サイクルを通して計画的に学習を進めている。
- ・疑問点を放置せず、先生に質問をしたり、学習書を活用したりして解決している。

CHAPTER 6 The World Is Not So Simple – A Lesson from the Worldwide Bestseller *Factfulness* (pp. 100-115) CAN-DO リスト

1. 内容理解 (Content Construction)

- ・ファクトフルネスの説明の導入としての3つの質問に答えることができる。【Part 1】
- ・データをもとに、分断本能について理解することができる。【Part 2】
- ・データをもとに、ネガティブ本能について理解することができる。【Part 3】
- ・データをもとに、直線本能について理解することができる。【Part 4】
- ・事実を基に考えることで世界の見方が変わるという筆者のメッセージを理解することができる。【Part 4】
- ・本文の内容を理解し、RECAP SHEET を完成させることができる。【R&R 2】

2. 言語リソース (Language Resources)

2.1 文法 (Grammar)

- ・過去を回想して語る構文ネットワーク【GC 1】
 - 1.1 過去を表す表現の意味の違いを理解し、例文の意味を理解することができる。
 - 1.2 過去を表す表現を理解したうえで、構文を使って日誌を完成することができる。
- ・付帯状況(with の用法)【GC 2】
 - 2.1 付帯状況の構文の働きと意味を理解し、例文の意味を理解することができる。
 - 2.2 付帯状況の構文を理解したうえで、構文を使って文を書きかえ、さらにオリジナルの文を作ることができる。

2.2 語彙 (Vocabulary)

- ・次の語彙をコミュニケーションにおいて使うことができる (発信語彙)。
 - 名詞: statement, professor, percentage, proportion, instinct, limitation, distinction, data, rate, conflict, reality, tendency, majority, factor, instance, growth, curve, title
 - 動詞: gain, advise, assume
 - 形容詞: primary, aware, gradual, accurate, distinct, dramatic, actual
- ・上記の語彙に加え、次の語彙の意味を理解することができる (受容語彙)。
 - 名詞: bestseller, physician, negativity, mortality, binary, division, expectancy, viewer
 - 動詞: double, halve, incline, highlight, flatten, level
 - 形容詞: Swedish, educated, mistaken, valid, clear-cut, intuitive, logical, alert
 - 副詞: dramatically
- ・事実・分断に関連する語彙をネットワークとして整理し、意味を理解することができる。【VN】

2.3 慣用表現 (Formulas)

- ・次の慣用表現の意味を理解し、使うことができる。
 - more or less, get ... wrong, become aware of ..., on average, be inclined to *do*, divide *A* into *B*, refer to ..., in reality, not necessarily, be rooted in ..., that is, advise *O* to *do*, be alert to ..., for instance, slow down, be expected to *do*, flatten out, level off, based on ..., as mentioned above

3. 5領域におけるタスク・ハンドリング (Task-Handling in Five Domains)

3.1 聞くこと (Listening Domain)

- ・本文に関する英文を聞き、正誤を判断することができる。【R&R 1】
- ・3つの図表についての講義を聞き、要点をまとめたメモをとることができる。【MIY 1, 2】

3.2 読むこと (Reading Domain)

- ・人間の本能を自覚し、事実を基に世界を正しく捉えることで世界の見方が変わるというメッセージを読み取ることができる。【CC】
- ・場面ごとの状況や説明内容を読み取ることができる。
- ・理解が難しい箇所を、文脈や背景知識を活用し、推測しながら読むことができる。

3.3 話すこと (発表) (Spoken Production Domain)

- ・本文の内容を理解し、RECAP SHEET を完成させ、発表することができる。【R&R 2】
- ・RECAP SHEET を用いながら、自分の言葉で本文内の良かったところを共有できる。【R&R 3】
- ・グループの中で選んだ最も良いメモをクラスで発表することができる。【MIY 5】

3.4 話すこと (やり取り) (Spoken Interaction Domain)

- ・Think-Pair-Share の問いに対して、自分の言葉で意見を述べながら、短い会話を行うことができる。【TPS】
- ・4~5人のグループで書いたメモの中から最も良いものがどれかを話し合って決めることができる。【MIY 4】

3.5 書くこと (Writing Domain) ・講義を聞きながら取ったメモを確認し，必要ならば修正することができる。【MIY 2】 ・事実・分断に関する語句を理解しながら，穴埋めを行うことができる。【VN】
3.6 領域統合 (Integrated Domains) ・4～5 人のグループで書いたメモの中から最も良いものを選び，クラスで発表することができる。【MIY 4, 5】
4. 学習への向き合い方と学習管理 (Attitude & Learning Management) ・教師の発問に対して積極的に反応している。 ・授業中に大きな声で気持ちを込めて音読をしている。 ・本課で学習した文法や語彙・慣用表現を，コミュニケーションにおいて積極的に活用しようとしている。 ・「事実・分断」に関する語彙や慣用表現を自分で調べ，語彙力の拡充を図っている。 ・本課の新出語彙・表現を繰り返し読んだり書いたりして，定着を図っている。 ・本課の全文を 10 回以上音読している。【通読用本文】 ・ペアワークやグループワークに積極的に参加し，責任をもって自分の役割を果たしている。 ・授業の振り返り（リフレクション）を行い，学習の成果と課題を明確にしている。 ・PDCA (Plan-Do-Check-Action) サイクルを通して計画的に学習を進めている。 ・疑問点を放置せず，先生に質問をしたり，学習書を活用したりして解決している。

略語: GC = Grammar for Communication; VN = Vocabulary Networking, MIY = Make It Yours; R&R = Recap & Retell;

CC = Comprehension Check; TPS = Think-Pair-Share

CHAPTER 7 The Psychology of Everyday Experiences (pp. 116-131) CAN-DO リスト

1. 内容理解 (Content Construction)

- ・2つの例をイメージしながら社会心理学の定義について理解することができる。【Part 1】
- ・Door-in-the-Face Technique を使った例から「返報性の原理」を理解することができる。【Part 2】
- ・さまざまな事例を読み、「社会的促進」が作業効率を上げることを理解することができる。【Part 3】
- ・私たちが「認知的不協和」を軽減するために考え方や行動を変えることを理解することができる。【Part 4】
- ・社会心理学が私たちの日常生活に役立っていることについて理解し、例を挙げることができる。【Part 4】
- ・本文の内容を理解し、RECAP SHEET を完成させることができる。【R&R 2】

2. 言語リソース (Language Resources)

2.1 文法 (Grammar)

- ・話し手の態度を示す構文 (助動詞) ネットワーク 【GC 1】
 - 1.1 話し手の態度を示す表現の意味の違いを理解し、例文の意味を理解することができる。
 - 1.2 話し手の態度を示す表現を理解したうえで、構文を使ってパンフレットを完成することができる。
- ・助動詞+完了形 【GC 2】
 - 2.1 助動詞+完了形の働きと意味を理解し、例文の意味を理解することができる。
 - 2.2 助動詞+完了形を理解したうえで、文法を使って会話を完成することができる。

2.2 語彙 (Vocabulary)

- ・次の語彙をコミュニケーションにおいて使うことができる (発信語彙)。
 - 名詞: psychology, purchase, stock, phenomenon, technique, strategy, loan, allowance, experiment, laboratory, length
 - 動詞: behave, arise, presence, decline, demand, surround, compete, conduct
 - 形容詞: scientific, reluctant, efficient
- ・上記の語彙に加え、次の語彙の意味を理解することができる (受容語彙)。
 - 名詞: snob, availability, reactance, pioneer, interaction, norm, reciprocity, concession, café, psychologist, facilitation, explanation, discomfort, dissonance
 - 動詞: prohibit, repay, reel, facilitate, enhance, strengthen, slurp
 - 形容詞: unreasonable, reciprocal, consistent, contradictory, cognitive
 - 副詞: initially
 - 前置詞: concerning
- ・心理学に関連する語彙をネットワークとして整理し、意味を理解することができる。【VN】

2.3 慣用表現 (Formulas)

- ・次の慣用表現の意味を理解し、使うことができる。
 - between you and me, cannot help *doing*, feel like *doing*, lie behind ..., put forward ..., turn down ..., be reluctant to *do*, in a row, in kind, make a concession, set a record, compete against ..., reel in ..., in pairs, in this light, prefer to *do*, make sense of ..., in short

3. 5領域におけるタスク・ハンドリング (Task-Handling in Five Domains)

3.1 聞くこと (Listening Domain)

- ・本文に関する英文を聞き、正誤を判断することができる。【R&R 1】

3.2 読むこと (Reading Domain)

- ・社会心理学が日常の経験を説明し、社会的なやりとりに役立つことを理解することができる。【CC】
- ・場面ごとの状況や説明内容を読み取ることができる。
- ・理解が難しい箇所を、文脈や背景知識を活用し、推測しながら読むことができる。

3.3 話すこと (発表) (Spoken Production Domain)

- ・本文の内容を理解し、RECAP SHEET を完成させ、発表することができる。【R&R 2】
- ・RECAP SHEET を用いながら、自分の言葉で本文内の良かったところを共有できる。【R&R 3】
- ・クラスの前でスキットを演じることができる。【MIY 4】

3.4 話すこと (やりとり) (Spoken Interaction Domain)

- ・Think-Pair-Share の問いに対して、自分の言葉で意見を述べながら、短い会話を行うことができる。【TPS】
- ・ペアで話し合ってスキットを作ることができる。【MIY 3】

3.5 書くこと (Writing Domain)

・ペアでスキットを作ることができる。【MIY 3】 ・心理学に関する語句を理解しながら，穴埋めを行うことができる。【VN】
3.6 領域統合 (Integrated Domains) ・ペアでスキットを話し合って作成し，クラスの前で演じることができる。【MIY-3, 4】
4. 学習への向き合い方と学習管理 (Attitude & Learning Management) ・教師の発問に対して積極的に反応している。 ・授業中に大きな声で気持ちを込めて音読をしている。 ・本課で学習した文法や語彙・慣用表現を，コミュニケーションにおいて積極的に活用しようとしている。 ・「心理学」に関する語彙や慣用表現を自分で調べ，語彙力の拡充を図っている。 ・本課の新出語彙・表現を繰り返し読んだり書いたりして，定着を図っている。 ・本課の全文を 10 回以上音読している。【通読用本文】 ・ペアワークやグループワークに積極的に参加し，責任をもって自分の役割を果たしている。 ・授業の振り返り（リフレクション）を行い，学習の成果と課題を明確にしている。 ・PDCA（Plan-Do-Check-Action）サイクルを通して計画的に学習を進めている。 ・疑問点を放置せず，先生に質問をしたり，学習書を活用したりして解決している。

略語: GC = Grammar for Communication; VN = Vocabulary Networking, MIY = Make It Yours; R&R = Recap & Retell;

CC = Comprehension Check; TPS = Think-Pair-Share

CHAPTER 8 An Ainu Girl Named Yukie (pp. 132-149) CAN-DO リスト

1. 内容理解 (Content Construction)

- ・アイヌの人々が受けてきた扱いについて理解することができる。【冒頭】
- ・幸恵が受けた差別と、金田一京助との出会いを読み取ることができる。【Part 1】
- ・金田一が幸恵にした提案を読み取ることができる。【Part 2】
- ・幸恵が東京に行くことになった経緯と彼女の抱える健康上の問題を読み取ることができる。【Part 2】
- ・雑誌記事の企画の中止を受けた幸恵の日記から、彼女の思いを読み取ることができる。【Part 3】
- ・「アイヌ神謡集」の出版と幸恵の死を、時間の流れを追って読み取ることができる。【Part 4】
- ・幸恵の本の序文より、幸恵がアイヌの未来について願っていることを読み取ることができる。【Part 4】
- ・本文の内容を理解し、RECAP SHEET を完成させることができる。【R&R 2】

2. 言語リソース (Language Resources)

2.1 文法 (Grammar)

- ・比較構文のネットワーク【GC 1】
 - 1.1 比較を表す表現の意味の違いを理解し、表現の意味を理解することができる。
 - 1.2 比較を表す表現を理解したうえで、構文を使って文を完成させることができる。さらに、なぜそのスマートフォンを選んだのか、理由を書くことができる。
- ・無生物主語構文【GC 2】
 - 2.1 無生物主語構文の働きと意味を理解し、例文の意味を理解することができる。
 - 2.2 無生物主語構文を理解したうえで、構文を使って会話を完成することができる。

2.2 語彙 (Vocabulary)

- ・次の語彙をコミュニケーションにおいて使うことができる (発信語彙)。
 - 名詞: inhabitant, belief, desire, preservation, translation, determination, publisher, proof
 - 動詞: devote, hunt, translate, praise, oppose, criticize, endure, warn, pray
 - 形容詞: entire, fluent, pale
 - 副詞: otherwise
- ・上記の語彙に加え、次の語彙の意味を理解することができる (受容語彙)。
 - 名詞: deer, linguistics, folktale, storyteller, epic, accuracy, transcription, housework, hardship, manuscript, toll, preface, inequality, misery
 - 動詞: discriminate, recite, entitle, edit, regain
 - 形容詞: vocational, oral, heroic, Roman, flawless, vulnerable, relieved, exhausted, determined, fatal, enjoyable, sheer
 - 副詞: cruelly, earnestly
- ・人権・平等に関連する語彙をネットワークとして整理し、意味を理解することができる。【VN】

2.3 慣用表現 (Formulas)

- ・次の慣用表現の意味を理解し、使うことができる。
 - devote *A* to *B*, give up ..., be proud of ..., look down on ..., no matter what, be impressed with ..., work on ..., do research on ..., suggest to *A* that ..., criticize *O* for *doing*, take its toll, take a rest, than ever, get to *do*, pray for ...

3. 5領域におけるタスク・ハンドリング (Task-Handling in Five Domains)

3.1 聞くこと (Listening Domain)

- ・本文に関する英文を聞き、正誤を判断することができる。【R&R 1】

3.2 読むこと (Reading Domain)

- ・アイヌの歴史や文化を理解したうえで、幸恵が本に込めた思いを読み取ることができる。【CC】
- ・場面ごとの状況や説明内容を読み取ることができる。
- ・理解が難しい箇所を、文脈や背景知識を活用し、推測しながら読むことができる。

3.3 話すこと (発表) (Spoken Production Domain)

- ・本文の内容を理解し、RECAP SHEET を完成させ、発表することができる。【R&R 2】
- ・RECAP SHEET を用いながら、自分の言葉で本文内の良かったところを共有できる。【R&R 3】
- ・アイヌ神謡集の謡の一つの翻訳をクラスで発表することができる。【MIY 3】

3.4 話すこと (やり取り) (Spoken Interaction Domain)

・ Think-Pair-Share の問いに対して、自分の言葉で意見を述べながら、短い会話を行うことができる。【TPS】 ・ アイヌ神謡集の謡の一つをグループで話し合って英語に翻訳することができる。【MIY 2】
3.5 書くこと (Writing Domain) ・ プロジェクトから学んだことを 3 つ書き出すことができる。【MIY 4】 ・ 人権・平等に関する語句を理解しながら、穴埋めを行うことができる。【VN】
3.6 領域統合 (Integrated Domains) ・ アイヌ神謡集の謡の一つをグループで翻訳し、それをクラスで発表する。さらにこのプロジェクトから学んだことを 3 つ書き出すことができる。【MIY 2-4】
4. 学習への向き合い方と学習管理 (Attitude & Learning Management) ・ 教師の発問に対して積極的に反応している。 ・ 授業中に大きな声で気持ちを込めて音読をしている。 ・ 本課で学習した文法や語彙・慣用表現を、コミュニケーションにおいて積極的に活用しようとしている。 ・ 「人権・平等」に関する語彙や慣用表現を自分で調べ、語彙力の拡充を図っている。 ・ 本課の新出語彙・表現を繰り返し読んだり書いたりして、定着を図っている。 ・ 本課の全文を 10 回以上音読している。【通読用本文】 ・ ペアワークやグループワークに積極的に参加し、責任をもって自分の役割を果たしている。 ・ 授業の振り返り（リフレクション）を行い、学習の成果と課題を明確にしている。 ・ PDCA (Plan-Do-Check-Action) サイクルを通して計画的に学習を進めている。 ・ 疑問点を放置せず、先生に質問をしたり、学習書を活用したりして解決している。

略語: GC = Grammar for Communication; VN = Vocabulary Networking, MIY = Make It Yours; R&R = Recap & Retell;
CC = Comprehension Check; TPS = Think-Pair-Share

CHAPTER 9 The Miracle of the Abu Simbel Temples (pp. 154-171) CAN-DO リスト

1. 内容理解 (Content Construction)

- ・ アブ・シンベル神殿の発見された経緯とその概要について理解することができる。【Part 1】
- ・ ダム建設からアブ・シンベルを救うために各国が出したアイデアを理解することができる。【Part 2】
- ・ アブ・シンベルの移送作業がどのようになされたか、またどのような苦労があったかを理解することができる。【Part 3】
- ・ 費用を集めるためにオカーシャ氏が思いついたアイデアを理解することができる。【Part 4】
- ・ 移転プロジェクトの成功がもたらした影響や効果について考えることができる。【Part 4】
- ・ 本文の内容を理解し、RECAP SHEET を完成させることができる。【R&R 2】

2. 言語リソース (Language Resources)

2.1 文法 (Grammar)

- ・ 名詞節の構文ネットワーク 【GC 1】
 - 1.1 名詞節の意味の違いを理解し、例文の意味を理解することができる。
 - 1.2 名詞節の表現を理解したうえで、例にならってメッセージをやり取りすることができる。
- ・ 「動詞＋名詞＋過去分詞」の構文 【GC 2】
 - 2.1 「動詞＋名詞＋過去分詞」の構文の働きと意味を理解し、例文の意味を理解することができる。
 - 2.2 「動詞＋名詞＋過去分詞」の構文を理解したうえで、構文を使って会話を完成することができる。

2.2 語彙 (Vocabulary)

- ・ 次の語彙をコミュニケーションにおいて使うことができる (発信語彙)。
 - 名詞: miracle, romance, distance, crisis, dam, rescue, location, ray, minister, fund, tomb, ceremony
 - 動詞: dedicate, install, submit, assemble, slice, estimate, appeal, lease, prove, conclude
 - 形容詞: cultural, visible, huge, southern, underwater, financial, brilliant, worthwhile
 - 副詞: totally, specially, equally, nevertheless, eventually
- ・ 上記の語彙に加え、次の語彙の意味を理解することができる (受容語彙)。
 - 名詞: grandeur, coincidence, facade, farmland, cliff, jack, Sweden, archaeologist, craftsman, chainsaw, saw, sanctuary, collaboration, humankind, signing, heritage, convention, completion
 - 動詞: reassemble, penetrate, illuminate
 - 形容詞: colossal, Egyptian, sandy, historical, hydraulic, impractical, risky, marble, innermost, latest, unwilling, money-raising
 - 副詞: desperately
- ・ 時代・出来事に関連する語彙をネットワークとして整理し、意味を理解することができる。【VN】

2.3 慣用表現 (Formulas)

- ・ 次の慣用表現の意味を理解し、使うことができる。
come back to life, consist of ..., be dedicated to ..., turn *A* into *B*, it is only a matter of time before ..., cut out ..., neither of ..., be unwilling to *do*, appeal to *A* for *B* in vain, search for ..., come up with ..., lease out, prove to be ..., be about to *do*, speak for oneself

3. 5領域におけるタスク・ハンドリング (Task-Handling in Five Domains)

3.1 聞くこと (Listening Domain)

- ・ 本文に関する英文を聞き、正誤を判断することができる。【R&R 1】

3.2 読むこと (Reading Domain)

- ・ 巨大な神殿の移設という「奇跡」のプロジェクトがどのように行われたのか、さらにそれがどのような影響を与えたのかを読み取ることができる。【CC】
- ・ 場面ごとの状況や説明内容を読み取ることができる。
- ・ 理解が難しい箇所を、文脈や背景知識を活用し、推測しながら読むことができる。

3.3 話すこと (発表) (Spoken Production Domain)

- ・ 本文の内容を理解し、RECAP SHEET を完成させ、発表することができる。【R&R 2】
- ・ RECAP SHEET を用いながら、自分の言葉で本文内の良かったところを共有できる。【R&R 3】
- ・ 自分で選んだり調べたりした日本の世界遺産についてクラスで発表できる。【MIY 4】

3.4 話すこと (やり取り) (Spoken Interaction Domain)

- ・ Think-Pair-Share の問いに対して、自分の言葉で意見を述べながら、短い会話を行うことができる。【TPS】

3.5 書くこと (Writing Domain)

- ・日本の世界遺産のうち、行ってみたいものや外国人観光客に薦めたいものを選び、理由を含めて書くことができる。
【MIY 1,2】
- ・インターネットで調べた日本の世界遺産の中から、今までに聞いたことがなかった驚くべき、もしくは印象的なものを選び、理由を含めて書くことができる。【MIY 3】
- ・時代・出来事に関する語句を理解しながら、穴埋めを行うことができる。【VN】

3.6 領域統合 (Integrated Domains)

- ・行ってみたい世界遺産やおすすめのもの、知らなかったものなどを調べて表にし、クラスで発表できる。
【MIY 1-4】

4. 学習への向き合い方と学習管理 (Attitude & Learning Management)

- ・教師の発問に対して積極的に反応している。
- ・授業中に大きな声で気持ちを込めて音読をしている。
- ・本課で学習した文法や語彙・慣用表現を、コミュニケーションにおいて積極的に活用しようとしている。
- ・「時代・出来事」に関する語彙や慣用表現を自分で調べ、語彙力の拡充を図っている。
- ・本課の新出語彙・表現を繰り返し読んだり書いたりして、定着を図っている。
- ・本課の全文を 10 回以上音読している。【通読用本文】
- ・ペアワークやグループワークに積極的に参加し、責任をもって自分の役割を果たしている。
- ・授業の振り返り（リフレクション）を行い、学習の成果と課題を明確にしている。
- ・PDCA (Plan-Do-Check-Action) サイクルを通して計画的に学習を進めている。
- ・疑問点を放置せず、先生に質問をしたり、学習書を活用したりして解決している。

略語: GC = Grammar for Communication; VN = Vocabulary Networking, MIY = Make It Yours; R&R = Recap & Retell;

CC = Comprehension Check; TPS = Think-Pair-Share

CHAPTER 10 Physics Goes a Long Way (pp. 172-187) CAN-DO リスト

1. 内容理解 (Content Construction)

- ・私たちが日々目にするものの土台に物理学があることを理解することができる。【Part 1】
- ・ミチオ・カク氏と物理学との出会いがどのようなものだったかを読み取ることができる。【Part 1,2】
- ・自然法則の4つの基本的な力と、第5の力の存在可能性について理解することができる。【Part 2】
- ・ダークエネルギーの発見と、宇宙の構成比やダークマターについて理解することができる。【Part 3】
- ・これから物理学を学ぼうとする高校生へのミチオ・カク氏のメッセージを読み取ることができる。【Part 4】
- ・ミチオ・カク氏が実験物理学から理論物理学へ転向したきっかけとその理由を読み取ることができる。【Part 4】
- ・本文の内容を理解し、RECAP SHEETを完成させることができる。【R&R 2】

2. 言語リソース (Language Resources)

2.1 文法 (Grammar)

- ・仮定の構文ネットワーク【GC 1】
 - 1.1 仮定を表す表現の意味の違いを理解し、例文の意味を理解することができる。
 - 1.2 仮定を表す表現を理解したうえで、構文を使って文章を完成することができる。
- ・倒置【GC 2】
 - 2.1 倒置の構文の働きと意味を理解し、例文の意味を理解することができる。
 - 2.2 倒置の構文を理解したうえで、構文を使って詩を完成することができる。

2.2 語彙 (Vocabulary)

- ・次の語彙をコミュニケーションにおいて使うことができる (発信語彙)。
名詞: physics, universe, biology, geography, particle, theory, reception, foundation, era, nuclear, basis
動詞: imitate, reproduce, bang, element, iron, overwhelm
形容詞: fundamental
副詞: lately
- ・上記の語彙に加え、次の語彙の意味を理解することができる (受容語彙)。
名詞: physicist, excerpt, laser, beam, X-ray, transistor, caption, equation, galaxy, alien, shield, gadgetry, wizardry, marvel, distillation, magnetism, phenomenon, telepathy, consciousness, exception, hydrogen, helium, nitrogen, tungsten, freshmen, skyscraper, mechanics, friction, lever, pulley, gear, adviser, dimension
動詞: summarize, unlock, hook, flunk, intrigue
形容詞: theoretical, blond, psychic, falsifiable, reproducible, invisible, definitive, blunt, experimental
副詞: namely, frankly
- ・物理に関連する語彙をネットワークとして整理し、意味を理解することができる。【VN】

2.3 慣用表現 (Formulas)

- ・次の慣用表現の意味を理解し、使うことができる。
go a long way, specialize in ..., in other words, happen to ..., get hooked on ..., and so forth, without exception, apply to ..., work ... out, blow ... apart, farther and farther, hold ... together, make A out of B, make up ..., fall over, give ... a rest, be suited to ..., Why not do ... ?

3. 5領域におけるタスク・ハンドリング (Task-Handling in Five Domains)

3.1 聞くこと (Listening Domain)

- ・本文に関する英文を聞き、正誤を判断することができる。【R&R 1】

3.2 読むこと (Reading Domain)

- ・未来の物理学者である高校生へのミチオ・カク氏からのアドバイスを読み取ることができる。【CC】
- ・場面ごとの状況や説明内容を読み取ることができる。
- ・理解が難しい箇所を、文脈や背景知識を活用し、推測しながら読むことができる。

3.3 話すこと (発表) (Spoken Production Domain)

- ・本文の内容を理解し、RECAP SHEETを完成させ、発表することができる。【R&R 2】
- ・RECAP SHEETを用いながら、自分の言葉で本文内の良かったところを共有できる。【R&R 3】
- ・4~5人のグループで、好きな教科のプレゼンテーションの導入文を発表することができる。【MIY 4】

3.4 話すこと (やり取り) (Spoken Interaction Domain)

- ・Think-Pair-Shareの問いに対して、自分の言葉で意見を述べながら、短い会話を行うことができる。【TPS】

3.5 書くこと (Writing Domain)

- ・ナビゲーターに沿って、発表の導入文を書くことができる。【MIY 3】
- ・発表の本文と結論を書くことができる。【MIY 5】
- ・物理に関する語句を理解しながら、穴埋めを行うことができる。【VN】

3.6 領域統合 (Integrated Domains)

- ・グループに自分の作った導入文を発表したのち、他のメンバーの発表をプレゼンテーションの評価基準を用いて評価することができる。【MIY 4】

4. 学習への向き合い方と学習管理 (Attitude & Learning Management)

- ・教師の発問に対して積極的に反応している。
- ・授業中に大きな声で気持ちを込めて音読をしている。
- ・本課で学習した文法や語彙・慣用表現を、コミュニケーションにおいて積極的に活用しようとしている。
- ・「物理」に関する語彙や慣用表現を自分で調べ、語彙力の拡充を図っている。
- ・本課の新出語彙・表現を繰り返し読んだり書いたりして、定着を図っている。
- ・本課の全文を 10 回以上音読している。【通読用本文】
- ・ペアワークやグループワークに積極的に参加し、責任をもって自分の役割を果たしている。
- ・授業の振り返り（リフレクション）を行い、学習の成果と課題を明確にしている。
- ・PDCA (Plan-Do-Check-Action) サイクルを通して計画的に学習を進めている。
- ・疑問点を放置せず、先生に質問をしたり、学習書を活用したりして解決している。

略語: GC = Grammar for Communication; VN = Vocabulary Networking, MIY = Make It Yours; R&R = Recap & Retell;

CC = Comprehension Check; TPS = Think-Pair-Share

APPRECIATIVE READING The Bracelet (pp. 188-194) CAN-DO リスト

1. 内容理解 (Content Construction)

- ・ 始業日にトンプソン先生がついた嘘とその理由を把握できる。
- ・ テディの様子と、それに対する先生の反応をイメージできる。
- ・ 過去の記録から、テディの家庭における環境の変化と学校生活への影響を、順を追って読み取ることができる。
- ・ テディからのプレゼントを手にした先生の反応と、子どもたちの態度の変化を把握できる。
- ・ 先生のテディへの接し方の変化と、テディに与えた影響を把握できる。
- ・ テディの手紙から彼が優秀な学業を修めていることと、先生への変わらぬ信頼を読み取ることができる。
- ・ テディの結婚式に母親の席に座るよう頼まれた先生が身につけたものとその意味を把握できる。
- ・ お互いに感謝を述べあう2人の理由と心情について考えることができる。

2. 言語リソース (Language Resources)

2.1 語彙 (Vocabulary)

- ・ 次の一般的な語彙の意味を理解することができる。
名詞: bracelet, Thompson, Teddy Stoddard, schoolwork, file, struggle, ribbon, grocery, rhinestone, perfume, wrist, bachelor, Theodore, MD, groom
動詞: slump, observe, review, exclaim, dab, assure, reserve, whisper
形容詞: memorable, messy, unpleasant, terminal, withdrawn
副詞: neatly, clumsily, hesitantly

2.3 慣用表現 (Formulas)

- ・ 次の慣用表現の意味を理解し、使うことができる。
all the same, (be) in need of ..., take delight in *doing* ..., put ... off, to say the least, with a ready laugh, a joy to be around, except for ..., come alive, go by, stick with ..., with the highest of honors, go for ..., Guess what?, make a difference, have it all wrong

3. 5領域におけるタスク・ハンドリング (Task-Handling in Five Domains)

3.1 聞くこと (Listening Domain)

- ・ 本文に関する英文を聞き、その内容を理解できる。

3.2 読むこと (Reading Domain)

- ・ 相手への理解と信頼が人を成長させることを理解することができる。
- ・ 場面ごとの情景や登場人物の気持ちを読み取ることができる。
- ・ 理解が難しい箇所を、文脈や背景知識を活用して推測しながら読むことができる。

3.3 話すこと (発表) (Spoken Production Domain)

- ・ 本文の内容を理解し、物語のレビューを発表できる。【AYR】

3.4 話すこと (やりとり) (Spoken Interaction Domain)

- ・ クラスメイトと意見交換しながら物語のレビューを作成することができる。【AYR】

3.5 書くこと (Writing Domain)

- ・ 本文の内容を理解し、物語のレビューを完成させることができる。【AYR】

3.6 領域統合 (Integrated Domains)

- ・ 物語を読み、情景や登場人物たちの関係性をイメージしながら読み進めることができる。

4. 学習への向き合い方と学習管理 (Attitude & Learning Management)

- ・ 教師の発問に対して積極的に反応している。
- ・ 授業中に大きな声で気持ちを込めて音読をしている。
- ・ 本課で学習した文法や語彙・慣用表現を、コミュニケーションにおいて積極的に活用しようとしている。
- ・ 物語における登場人物の視点に立てる・感情を汲み取ることができる。
- ・ 本課の新出語彙・表現を繰り返し読んだり書いたりして、定着を図っている。
- ・ ペアワークやグループワークに積極的に参加し、責任をもって自分の役割を果たしている。
- ・ 授業の振り返り (リフレクション) を行い、学習の成果と課題を明確にしている。
- ・ PDCA (Plan-Do-Check-Action) サイクルを通して計画的に学習を進めている。
- ・ 疑問点を放置せず、先生に質問をしたり、学習書を活用したりして解決している。